



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
担当者の所属・氏名 乳腺外科 林 直輝

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 林 直輝

乳癌術後の放射線誘発性血管肉腫に対する

化学療法の効果を調べる研究

1.研究の対象

2008年4月～2018年3月に乳癌術後の放射線誘発性血管肉腫の診断となり、当科で治療を受けられた方

2.研究の目的・方法

乳がん術後の放射線治療の稀な合併症として、放射線誘発性血管肉腫が発症することが知られています。その頻度は0.2%未満と発症頻度が低く、手術以外の治療、特に化学療法の効果についてはデータや研究が不足している状態です。更に、日本人におけるその特徴や予後や化学療法の効果などのデータをまとめた研究はまだありません。

今回、当院における乳癌術後の放射線誘発性血管肉腫について調査することで、化学療法の効果や予後因子を特定することで、より適切な治療選択に寄与することを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、併存疾患、手術の術式、抗がん剤治療・内分泌療法・放射線治療などの治療歴、副作用等の発生状況、再発の有無、過去の乳癌の治療歴、カルテ番号 等

4.研究組織

聖路加国際病院 乳腺外科